

山田修 東海村長4期就任インタビュー

広告

企画・制作 建設未来通信社広告部



「豊かな村」を次世代へ継承 村民とともに夢のある未来像を描く

東海村 山田 修 村長に聞く

9月7日に行われた東海村長選挙で、4期目の当選を果たした山田修村長。「今回の就任は3期の延長線ではなく、新しい4年間のスタート」と語る。本年度からスタートした総合計画「まちづくりの羅針盤」で掲げた4つのビジョンをもとに、ハード面とソフト面をともに見直し、豊かな村を次世代へと引き継いでいきたいと話す山田村長は、就任にあたっての抱負や重点事業について、あわせて建設業界への思いなどを聞いた。

阿漕ヶ浦周辺を面的整備

就任の抱負

今回で4期目の当選となった。今回の就任は3期の延長線ではなく、新しい4年間の始まりである。新しい4年間のスタートである。また本年度は、村発足70周年を迎えた記念の年。この70周年を振り返り、これまでの歩みを確認すると、さまざまな面で生活が豊かになったと感じられるようになった。この豊かな「東海村」を次世代に引き継いでいくためには、これを契機として改めてハード面とソフト面の両方の基盤の見直しが必要であると考えている。

これからの4年間は、豊かな村を次世代に引き継ぐための大切な期間になる。施策については継続事業として進めているものも多いが、改めて気を引き締めて、村の施策を推進していきたい。

重点事業について
村ではこれまで、2022

0年度から24年度までを計画期間とする「東海村第6次総合計画」をもとに村政運営を進めてきた。24年度で計画期間が終了するにあたり、本年度から29年度までの5年間を計画期間とする新たな総合計画として「まちづくりの羅針盤」を策定。名称も改めて「東海村」を次世代に引き継いでいくための「幸福の向上」を追求していく。

また「まちづくりの羅針盤」実現に向けた取り組みとして、5年間で取り組むべき政策課題を4つのビジョン「人口減少対策」「新たな基盤整備」「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」「安全・安心の確保」として明記している。毎年度の具体的な事業をまとめている「実施計画」と合わせ、総合計画の実現に向けて推進していく。

建設関係では、「新たな

プロフィール

▼山田修（やまだ・おさむ）
1961年4月26日生まれ。64歳。高崎経済大学経済学部卒。2010年4月から東海村副村長を務め、13年に東海村長に初当選した。趣味はランニングで「次回の勝田マラソン」も出場予定。今から調子を上げています。

基盤整備の一環として、国道の4車線化に伴う村松・石神地区の新たな地区別計画の策定、人々の交流促進や利便性向上をめざす。また、まちづくりの羅針盤として「まちづくりの羅針盤」を策定。名称も改めて「東海村」を次世代に引き継いでいく。

村松地区内には阿漕ヶ浦や大神宮などがあり、その周辺には景勝地が広がっている。村松地区整備として、大型車対応の検校を進めている。バスが通行可能となった際に周辺に直売所や

村松地区整備

村松地区内には阿漕ヶ浦や大神宮などがあり、その周辺には景勝地が広がっている。村松地区整備として、大型車対応の検校を進めている。バスが通行可能となった際に周辺に直売所や

地元建設業の発展を支援

面的整備を計画している。具体的には、国道245号の阿漕ヶ浦公園入口のT字路を十字路に改良し、J-PARCへのアクセス道路を整備。このアクセス道路付近に駐車場なども整備して、村松海岸へ気軽にアクセスできる散策路としても活用できないかと計画している。

付近では豊かな景観と砂防林の機能回復を目的に行っている植樹活動「リジエプロジェクト」を村で行っており、地域住民や観光客などが自由に散策・交流できるような場所となれば、村へ人が訪れるきっかけになるのではないかと考えている。

本年度は整備に向けて、基本計画の策定を進めている。来年度以降の整備着手を目標に、インフラ整備と合わせて事業を促進していく。

石神地区整備

石神地区整備については、具体的な計画がまとまっている段階ではないが、国道6号の4車線化に伴い周囲

ベーター整備を計画している。本年度26年度で整備に向けた実施設計を進め、26年度で石神・村松コミュニティセンター、27年度で白方コミュニティセンターへの整備を行っていく。

入札制度について

もし自然災害に見舞われた際、村内に建設業者がいなければ早期復旧は不可能となる。地元建設業者の育成が重要であり、村発注の公共工事を村内建設業者に落札してもらうのが理想の形と考える。

建設業者の育成については、平常時に地元建設業者へ向けた発注をこれまで行えるかが課題となってきた。しかし、工事内容によ

ては村内業者だけでは難しく、村外業者を入れなければならない場合もある。地元建設業者への発注に關しては、東海村建設業協同組合の皆さまなどからも要望として声をいただいで

そのほかの基盤整備

そのほか、まちなかのデザインの一環として東海駅東口交通広場の再整備を計画している。現在の交通広場は、一般車降場所や駐車場などの不足が見られる。現状の形態では利用しづらい状況となっているため、利便性向上を目指した東海駅東口交通広場の再整備を検討している。本年度は、バスやタクシーなどの交通事業者および利用者からの意見や要望などの聞き取りを行っており、再整備に向けてレイアウトの再検討を進めていく。

また、コミュニティセン

ターのバリアフリー化を推進。石神・村松・白方コミュニティセンターへのエレ



▶村松地区の整備イメージ図

いる。綱引きが悩ましいところではあるが、内容を整理しながら地元業者に伝えていきたい。

建設業界へのメッセージ

まずは、村の公共工事のほか、東海まつり後の清掃や海岸清掃など、村内のボランティア活動に積極的に参加していただき感謝を申し上げる。ボランティア活動は、建設業についてアピルになっていると感じているため、引き続き協力をお願いしたい。

建設業界は、若手技術者の確保が難しい中で、さらに働き方改革や時間外労働の上限規制など厳しい状況が続いているかと思う。しかし、ICT施工の促進や外国人材の活用など、課題解決に向けた対策を進められていると聞く。

建設業やインフラ整備など、建設業の手がけるものは規模が大きく、その分達成感がある。建設業の担い手確保に向けて、ものづくりが面白いこと、働き甲斐があることを若者に伝え、関心を持ってもらえるよう、今後もアピルを続けていきたい。

村としても地元建設業界の発展のため、支援していく所存。地元建設業界の皆さまとともにまちづくりを推進していきたい。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

私どもは社会資本整備を通して、地域の活性化と村政発展に尽力いたします

東海村建設業協同組合

〒319-1118 那珂郡東海村舟石川駅東3-15-14 TEL 029-282-9242 FAX 029-282-4823

理事長 澤畠 弘樹 副理事長 大城 辰也

(株) オーク 東海村舟石川駅西3-11-14 029-282-2015
大仁建設(株) 東海村白方中央1-21-24 029-282-1330
(株)河野工務店 東海村東海2-1-19 029-282-1333
環境保全事業(株) 東海村村松1033-1 029-282-8855
(株)関東総建 東海村石神外宿1435-2 029-287-1641
(株)コワ 東海村舟石川632-9 029-283-2202

(株)佐藤工務店 東海村白方599-10 029-282-3210
(有)沢畑土木 東海村石神内宿1630 029-282-4790
(株)三建工業 東海村石神内宿2265-2 029-287-0352
鈴懸工業(株) 東海村村松字勝木田2039-15 029-306-2570
(有)大建工業 東海村村松北2-1-2 029-283-3636
(株)大興建設 東海村東海2-1-18 029-282-8590

東康建設工業(株) 東海村白方538-2 029-282-2626
東豊建設(株) 東海村豊岡379 029-282-2505
(有)日本建商 東海村石神内宿2482-1 029-283-3163
ネモト建設工業(株) 東海村東海3-8-48 029-282-3208
弓山建設工業(株) 東海村東海1-1-23 029-282-1746